

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報

No.24

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部
http://www.tojitsu-dosokai.com

本を読む

最近の私は、本が睡眠薬代わりになってきました。今日はゆっくり読もうと思って、気合は入れるものの床に入り横になって読んでいるうちに、いつしか眠ってしまうことが多く、我ながらだらしなく滑稽に思います。

本というと、小・中学校の時の長い休み前に必ず課せられるのが、その学年の課題図書で、読んだ後の感想文が苦手であったことが、今でも脳裏に浮かんで来ます。

当時は、課題図書といっても、本の本数が少なくて選択に迷うなんてことはなかったように記憶しています。

また、担任の先生が「本はたくさん読みなさい!」、何ていつも言っていて、時には「積読より乱読の方がいい!」、なんて妙に面白い言い方をされていたのを今でも思い出します。

昨今は、夏休み前になると、新聞の紙面に数多くの本が紹介されていますが、その中から楽しめそうな題名を見つけて、「読んで見たいな…」なんて思う本はないかと、紙面を見ている私です。

本は結構楽しく、想像力を豊かにしてくれるし、なんとと言っても「心を豊かにしてくれる!」この言葉に尽きると私は思っています。

在校生の皆様も、食欲に本を読みあさってみては如何かと思います。



会長 本田 位公子(第 34 期)
(平成 24 年定期総会にて議長務める会長)



平成 24 年 同窓会定期総会 集合写真(左上・下)
(2012.6.2 プラザ・アペア)



懇親会に合わせて、第 41 期同期会が開催されました。

平成24年度雑記



平成二十四年定期総会で
挨拶される
上野雅子理事長

理事長 上野 雅子

昨年の大震災から1年半以上経ちましたが、被災地の方々はいまだに不自由な生活を強いられ、政治家達は自分達の保身のみで、なかなか災害で困っている人々の方には、目を向けていない実状を分かっているにもかかわらず、すぐには解決出来ないもどかしさを感じる今日この頃です。

現在、東京実業高校は着々と新しい校舎建設へと向かっております。今年10月には念願の体育館が完成し、生徒達が新体育館で生き生きと運動に励んでいる姿は、私達に明日に向かって発展する学校の姿と重なっているように感じられます。

日本は現在多くの問題を抱えています。若い人の人口が、少しずつ減少傾向にあるということは、日本の国全体を揺るがす大問題であることは確かでしょう。そんな中で教育の仕事は、若い人達の力強いエネルギーを直に感じられるすばらしい仕事です。皆様の後輩達も日々元気に勉学に部活動に励み、高校生活を十分に満喫しています。

平成24年度は、一昨年、昨年と引き続き駅伝が東京都代表となり、12月23日(日)に都大路を走ります。東京の何百とある高校の中から、東京実業高校が代表となって、全国から集まる高校と競い合う若々しい姿は、本当に感動そのものです。毎年、京都まで応援に来て下さる同窓生の方もいらっしゃる、あつという間に駆け抜けていく選手の背中に大きな声援を送って下さっています。7名の選手がタスキを次々と渡してゴールとなるスタート地点に戻って来るリレーは、何とも云えないワクワク感を見る人々に与えてくれます。冬の京都市は盆地特有の底冷えする寒さですが、辛抱強く待つ観客達は寒さなど物ともせずに応援します。日本人の「絆」という言葉に託す思いは、このような競技にも表れていると感じるのは、うがった見方でしょうか？

駅伝が終わりますと早や今年も終わりに近づき、3学期の始まりの準備となり、次年度の入学試験が間近かとなります。1年の早さは歳をとる毎にあつという間に過ぎていくように思われます。ことに学校は、学期毎に行う行事があり、一つが終わると又次が控えているというように繰り返されていきますので、早く感じられるのかもしれない。来年は第Ⅱ期工事として、旧校舎の取り壊しが始まり、2014年完成を目指します。皆様にもご不自由をお掛け致しますが、新東京実業高校の誕生をどうぞ今後とも暖かく見守って頂けますようお願い致します。

(2012年11月下旬に執筆して頂きました。)

「東京実業と蒲田とのつながり」



平成二十四年定期総会で
挨拶される
上野毅校長

学校長 上野 毅

東京実業高校は今年2012年に、創立90周年を迎えました。記念事業として、体育館、校舎棟の建て替えをしております。2012年10月、新体育館(フェニックス・アリーナ)が完成しました。思い返せば、上野熊蔵元校長が亡くなって2年後、1964年に前の蒲鉾屋根の体育館が完成しました。あれから48年経ち、耐震的にも心もとなない体育館は生まれ変わりました。1階に機械実習関係、2階に武道・格技場、3階にアリーナという配置です。続いてⅡ期工事として、校舎棟の建て替えを行います。現在の本館(2号館)も築後46年経ち、耐震的にも黄信号、間に挟まった4・5号館も耐震補強では解決出来ないものがあり、思い切って全面建て替えを決意しました。2014年末に完成の予定です。

私は、学校の歴史は同窓生の歴史であり、同窓生の人生そのものという感を深くしています。どういう人材を育てる学校であるかについては時代と共に変化して来ました。創立当時は、経理・会計の専門家の育成、そして戦後の復興期は機械・電気の技術者の育成、2010年からIT技術者の育成というように今後も時代に即応した人材を育成していきたいと思えます。

さて、今年NHKの朝の連続ドラマで「梅ちゃん先生」が大人気となり、蒲田という地名を全国にアピールしてくれました。3・11の東日本大震災の復興に重ねるように戦後の蒲田の復興を題材にして欲しいと、NHKが脚本家の尾崎将也氏に注文をつけたそうです。始まる前、一年間かけて尾崎氏は蒲田の地取材したそうです。梅ちゃんの結婚相手となる「信君」が、機械で部品を作る職人だったことから、そのうちに東京実業も出て来るのでは？と期待しましたが、残念ながら出ませんでした。

そんな中で長い間、疑問に思っていたことがわかりました。30数年前、私が蒲田の地を知り、東京実業とかかわりを持つようになって、父の故上野幸一元校長に蒲田の町医者を紹介してもらった所、美人の女医さんが多いのにびっくりしました。蒲田は女医さんが多い街と不思議に思っていたのですが、ドラマを見て良くわかりました。それと東邦医大との関係もわかって来ました。また、京浜工業地帯という地域性と学校との関わりもわかって来ました。しかし、新潟鉄工が無くなり、富士通本社が学校のすぐ近くにあることも時代の流れを感じます。本校は国際交流の先駆けとして、グローバルな視点を持ちながら、地域と密着した視点も忘れずに歩んで行こうと思えます。(2012年11月下旬に執筆して頂きました。)

学校の近況報告 (機械科・電気科・普通科・部活動・生徒会)

学校の近況報告



副校長 知念 義裕



平成24年度の入学式は4月9日、新入生451名を迎え、大田区民ホールアプリコに於いて挙行されました。ご承知の通り、昭和39年に建造された体育館は建て替え中であり、外部の施設を利用せざるを得なかったという次第です。そしてこの新入生諸君もすっかり本校に馴染んだ10月、立派なフェニックス・アリーナ(新体育館の名称)が竣工しました。

11月9日、本校創立90周年記念式典がフェニックス・アリーナで行われ、翌10日(土)には「東実まるかじりⅡ」をテーマに、オープンハイスクール(東実祭)が行われました。同窓生の皆様にとって、フェニックス・アリーナの、初のお披露目ともなりました。

又、「全日制旧職員の集う会」が校内で催され、27名の旧職員の皆様が元気な顔を見せて下さいました。久しぶりの再会ということで、とても楽しい会となりました。尚、これまでは細江和四郎先生(商業)が「旧職員の会」代表を務めてくださいましたが、今後は後輩にバトンタッチをされる、とのことで菊地克己先生(社会)が代表に、そして佐藤節夫先生(電気)とのコンビで会を盛り上げていくこととなりますので、「よろしく御願ひ致します」とのことです。

電気コース2年生の伊藤稜君(浜川中)が第一種電気工事士試験に合格。2年連続で合格者が出ています。

部活動の報告 (活躍の様子)

➤ マーチングバンド部

23年度に引き続き、さいたまアリーナに於いて行なわれた第40回マーチングバンド・バトントワリング全国大会に出場。小編成の部で見事金賞を受賞しました。また、今年は第40回記念大会という節目の年ということで、本校は過去25回以上出場という偉業を達成した功績をたたえられ、表彰を受けました。

➤ レスリング部

第58回関東高等学校レスリング大会フリースタイル55キロ級に機械科3年の吉川遼君(大綱中)が出場を果たしました。

➤ 柔道部

第61回全国高等学校柔道大会(インターハイ)東京都予選会100キロ超級に出場した文理コース3年の盛勇人君(玉川中)がベスト8の成績を収めました。

➤ サッカー部

部員が100名という大所帯となったサッカー部。第91回全国サッカー選手権大会東京都予選会大会ではBブ

ックベスト16の成績。インターハイ東京都予選会では一次トーナメント敗退という近年にない危機感がありましたが、高体連サッカー東京都新人戦第4地区選手権では優勝。今や恒例となった都大会への出場権(25年度)を獲得しました。

➤ 陸上競技部

65回南関東高等学校陸上競技大会に文理コース3年稲毛悠太君(生麦中)が5000メートル走に、同じく文理コース3年の堀口諒太君(今井中)がやり投げに出場。第16回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会には文理コース2年生の山口壱平君(西戸山中)が5000メートル競歩に出場。見事優勝を果たした。注目された駅伝の結果については、すでにご存知だと思いますが、過去の都大会ではどの学校も果たし得なかった3年連続優勝という偉業を達成しました。京都での第63回全国高等学校駅伝競走大会では31位という成績でありましたが、競技場に戻ってからのトラック勝負では機械科3年生でアンカーの新堀遼君(生麦中)の二人抜きに、テレビの前で応援した方々も手に汗したことだろうと思います。

又、23年度駅伝メンバーで、今回の箱根駅伝7区で区間賞を取った我那覇和真君(現神奈川大1年生)の報告会と慰労会を兼ね、同窓会新年会にお招きすること。楽しい会となりそうです。

更に、1月20日の天皇杯全国男子駅伝(都道府県駅伝)には東京都高校生代表として稲毛悠太君が出場予定です。活躍を期待したいと思います。(1月10日に執筆して頂きました。東京都の結果は、第2位の成績でした)

教職員の永年勤続表彰及び異動

➤ 永年勤続表彰者

勤続30年：増田修一(機械科)、須賀寛光(電気科)、
勤続20年：関根 勝(数学科)
勤続10年：田口結香(商業科)、北村美佐紀(事務)

➤ 教職員の異動

退職教職員：飯塚方子(事務)

新任[専任]：熊谷曉了(数学科)

[専任講師] 児島大祐(体育科)、田中秀明(理科)、
小泉佐和子(数学科)、上原みゆき(商業科)、
國井昭博(電気科)

●お菓子のご用命はアルベリに●

和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 **アルベリ**

〒222-0002 横浜市港北区師岡町821-7

TEL: 045-543-5211

FAX: 045-542-4387

<http://www.alberi.co.jp>

代表取締役社長 仲川 忠邦

機械科の近況報告



機械科科长 佐藤 卓司



平成24年度、機械科は新入生146名を迎えました。残念ながら女子の入学者はありませんでした。したがって、今年度の機械科の在籍数は、平成24年4月1日現在348名で内訳は1学年146名(3クラス)、2学年97名(3クラス)、3学年105名[内、女子1名](3クラス)となります。

学年・クラス担任は1学年A組：河野年光[機械]、B組：佐藤卓司[機械]、C組：小川欽也[体育]、2学年A組：村山隆[機械]、B組：関根勝[数学]、C組：山下秀徳[体育]、3学年A組：増田修一[機械]、B組：松田稔[体育]、C組：岩田孝文[体育]の各先生方です。

新体育館(フェニックスアリーナ)が昨年10月に完成し、1階フロアに各実習室を集約しました。平成25年度は実習内容の充実ということで、NC旋盤、アームロボットの更新、CAD/CAMシステムの新規導入、更に平成26年度以降マシニングセンターや精密平面研削盤も順次、更新の予定です。他にも、レゴマインドストーム、3D造型機なども新規に導入の予定です。そして、これらを連動させて「ものづくり」の楽しさを実感させるべく、先生方も日々研鑽しております。

将来の進路設計に向けての資格取得にも従来通り力を入れており、ガス溶接、アーク溶接、有機溶剤作業主任者、クレーン・玉掛け、フォークリフト運転、車両系建設機械運転等の技能講習会を実施し、多くの生徒が挑戦し、取得しております。

また、国家試験「第二種電気工事士」に、昨年に引き続き機械科2年の生徒が1名合格しました。昨年1月から始まった放課後の講習会[学科・実技]等で地道な努力の積み重ねが功を奏し、見事合格したことは特筆すべきところであります。

同窓生皆さまの益々のご活躍をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

電気科の近況報告



電気科科长 長谷川 浩



平成22年度に新設された電気科ゲームITコースも、今年度の入学生で全ての学年が揃いました。今年度入学した人数は17名(男子のみ)とまだまだ寂しいですが、3年生まで揃うことでコースの存在も浸透して来ました。電気コースの生徒は今年度も定員を超え、73名(男子のみ)の生徒が入学しました。

現在、電気科は1年生が3クラス、2年生も3クラス、3年生が2クラスの合計8クラス(女子は3名在籍)で過去最大に膨らんでいます。

今年度も広報活動の一環として、「東京ゲームショウ2012」(9月・幕張メッセで開催)にゲームITコースの出展を致しました。3年生の制作したオリジナルゲームも展示できたうえ、今年はフジテレビや大学新聞のメディアにも取り上げられ、「ゲームプログラミングが学べる東日本唯一の高校」と紹介して頂きました。

ここで、平成24年度の「第二種電気工事士」(国家試験)の合格状況を報告致します。7月下旬の技能試験に15名がチャレンジし、13名が見事合格。免状を手にすることが出来ました。技能合格率は87%で2年間続いた100%に一步届きませんでした。今回も機械科の生徒を1名合格させることができました。おめでとうございます。

最後に2年前の3月に発生した東日本大震災は、未だに大きな傷跡を残し、完全復旧にはほど遠い状態です。2年近く経つ今でも、福島第一原子力発電所では大きな問題を抱え、原子力発電所の事故の恐ろしさをしみじみと思い知らされております。電気科では生徒達に今後の電力事情や新たなエネルギー資源などの課題について、しっかりと学ばせたいと考えております。被災地の、一日も早い復興を願っております。

UNO CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒110-0003 東京都荒川区荒川3-6-4
KATO P.P 2F



平成24年度 第二種電気工事士合格者

普通科の近況報告

「ビジネスコース」



ビジネスコース科長
小島 茂



現在、普通科ビジネスコースには 399 人の生徒が在籍して、毎日の授業や検定試験（簿記・情報処理・ワープロ・社会常識能力・ビジネス能力・MO S）に向けて勉強に励んでいます。キャリア教育も行い職業的自立も目指しています。

11 月のオープンハイスクールの珠算大会は、1 年生：松本拓己、2 年生：瀬貫優、3 年生：大郷真希生が、簿記大会は 1 年生：伊藤愛鈴、2 年生：庄司直矢、3 年生：中村凌太が優勝しました。

今年度も『第 2 回東実ビジネスフェスタ』を開催し、ビジネスの場面を想定して学習した知識と技術を生徒が実践出来る場として 3 学年の代表が、仕入れ、装飾、販売に分かれ東日本大震災で特に被害のあった岩手県、宮城県、福島県の物産に加え、北海道の岩見沢農業高校で生産された農作物・畜産加工品を販売しました。1 年生はパソコンでポスター作成を、2・3 年生はマーケティング活動をしました。

- ▶ 3 年生の代表メンバーと担当地域
岩手県（◎大友椋平・伊波潤一・保戸田雅人・佐藤遙・松田美樹）、
宮城県（◎谷口弥・唐戸達也・護摩堂貴哉・パラダ勝ジョセフ・石嶺勇太）、
福島県（◎大郷真希生・鈴木瞭・岩渕優也・櫻井拓也・村田 遼）、
北海道（◎前田祐志・榎 龍伝・メイ ソビアック・中山裕也）。



東実ビジネスフェスタ(物産販売)

「文理コース」



文理コース科長
高橋 修



普通科文理コースでは、11 月 1 日現在で 1 学年 77 名、2 学年 65 名、3 学年 60 名の生徒が在籍しています。昨年卒業した生徒の進路先は、駒沢大学、神奈川大学、東海大学、国士舘大学、帝京大学、立正大学、関東学院大学、東京工科大学、横浜商科大学等に合格しています。その他、短大・専門学校に進学しています。

文理コースでは近年部活動に参加し、活躍する生徒が増えていきます。特に陸上競技の駅伝競走では、昨年の全国大会で京都を走った文理コースの生徒は、我那覇和真君、棚山健君、稲毛悠太君、萩原祐樹君等が頑張ってくれました。今年は駅伝部のキャプテンの阿部玲央君も文理コースです。また、陸上競技部の蟹澤龍一君は難関である神奈川県立保健福祉大学に合格しました。これからは、文武両道に活躍する文理コースになってくれることを期待しています。

さて、文理コースでは、次の三点を指導の重点としています。

- (1) 基礎学力の定着
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開
- (3) 大学進学に向けた実力アップ

(1)については、「到達確認テスト」を実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達していない場合は放課後の補習で、さらに定着を図っています。(2)については、2 年次(英・国・数)、3 年次(国・英)に習熟度別授業を展開し、生徒のレベルにあった授業を行い、理解度を高めるようにしています。(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、土曜講座を実施しています。今年も 1 学期からスタートし、早い段階から大学受験体制の構築を始められるようにしました。

本校では、今年度からインターンシップを導入し、キャリア教育の観点から進路指導を行うようにしたいと考えています。大学全入時代と言われている今だからこそ、自分が希望する大学への進学を確実なものにするためにも、キャリア教育を通して進学に対する意識を高め、一人でも多くの現役合格を目指し、難関校への合格が出来るように、様々な取り組みを行って行きたいと思っております。

ホームページURL <http://www.tojitsu.ed.jp/>

東京実業高校の最新情報は、ホームページを随時更新し、紹介しておりますのでご覧ください。

部活動報告(卓球部)



卓球部 藤田 稔



卓球部は現在、12名で日々練習に励んでいます。創部当初より、「卓球を通じて心身を鍛え、学問との両立を図り部員同士、あるいは顧問、監督との親睦を目指す」ことを目標にしています。したがって、中学時代での経験、未経験を問わず一緒に技術向上、和気藹々とした雰囲気の中で活動をしています。女子部員は現在1名と寂しい状況の中で活動していますが、一緒に練習を行っています。普段は原則として、2時間半余りの時間帯で新体育館の専用の施設において、基礎的なものや各自の課題、そしてゲーム練習を中心に汗を流しています。また、夏休みには山中湖の学寮にて、4~5泊の合宿を通じて親睦を深めています。

大会への参加については高体連に所属し、団体、ダブルス、シングルス等多岐にわたり出場しています。また、地域の大田区大会や私学大会等にも積極的に出場し、成果を上げています。

成績は、個人や団体戦では、なかなか上位になることはありませんが、昨年、一昨年と東京都予選を勝ち抜いて「東京選手権大会」(全国大会)に代表として出場することが出来ました。

今後の卓球部の目標としては、前述致しましたが、スポーツを通じて忍耐力や、力を合わせて目標に向かうことの大切さを身に付けて行ければ良いと考えています。そして、高校生活3年間において良き友や、生涯スポーツとしての卓球の基礎的な技術や楽しさを学んでもらえればと思います。



生徒会報告



生徒会長 林 賢五



私たち生徒会執行部は1、2年生合せて14名で活動しています。

現在の役員になり、「生徒総会」、「体育祭」、「オープンハイスクール」など多くの学校行事の主催、参加をして来ました。全ての行事で役員全員が、与えられた仕事と、自ら見つけた仕事と、最善の形で達成できるよう日々取り組んでいます。

学校行事に関わる中で学ぶことが多くあります。生徒会は周囲からの期待も大きく、質の高さが求められます。行事等の準備段階や当日までの過程を見てくれる方もいますが、やはり多くの方が注目するのは、最後の結果です。結果や見た目が全てではありませんが、見た目が良くなければ中身も見てもらえません。しかし、本当の意味で見た目を良くするためには、中身が頑丈で美しくなければなりません。生徒会に重要なのは周囲からどう見られるかの前に、自分たちがどうあるべきかを考えることで、それが美しい見た目へ繋がって行くと思っています。

行事終了後には、反省点を役員で出し合い、話し合います。しかし、現2年生の役員は来年、その行事に生徒会として関わることは出来ません。生徒会の任期は一年間のため、1つの行事に取り組める機会は一度になります。そこで思うことは、その一度きりの仕事に全力を尽くすことは勿論ですが、同様に、継承ということが大切だということです。今の1年生役員が進級後も役員を続けてくれたり、新たな役員たちが、前年を上回る成果を残せるよう、全体を鼓舞すると共に、受け継ぐ点、改善すべき点を明確にして行くことが大切だと思います。

生徒会は失敗が後悔ではなく、継承になるよう今後も精一杯の努力をして参ります。私自身の任期は残りわずかですが、今後とも生徒会へのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

●● 楽しい室内空間作りのお手伝い ●●

インテリア 遠藤商店

〒146-0085
東京都大田区久が原3-34-12
TEL (03) 3752-3027 FAX (03) 3752-3359

第22期 遠藤 孝一

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

平成 24 年 定期総会 (収支決算報告・役員・事業計画)

平成 23 年度 収支決算報告書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金(普通)	3,767,111	3,767,111	事務消耗品費	550,000	559,839
入会金	3,500,000	3,530,000	通信連絡費	350,000	213,175
寄付金	10,000	0	ホームページ管理費	200,000	189,021
広告費	45,000	50,000	印刷費	100,000	52,290
総会会費	180,000	177,000	会議費	350,000	401,204
旅行会費	400,000	465,000	総会助成費	400,000	308,546
新年会費	420,000	324,000	総会経費	180,000	267,000
東実祭	200,000	105,000	旅行助成費	100,000	17,000
受取利息	500	293	旅行経費	400,000	465,000
雑収入	50,000	325,175	新年会助成費	100,000	36,161
			新年会経費	420,000	466,000
			東実祭費	200,000	87,520
			会報発行費	450,000	533,850
			慶弔費	300,000	241,850
			卒業記念品費	350,000	320,408
			積立金	1,000,000	300,000
			交通費	10,000	0
			予備費	500,000	620,790
			震災遺児奨学金	0	104,655
			次年度繰越金(普通)	2,612,611	3,559,270
合 計	8,572,611	8,743,579	合 計	8,572,611	8,743,579

積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増 減	利 息	本年度残高	備 考
定期預金(みずほ)	9,816,694	300,000	4,425	10,121,119	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,098,956	0	6,465	10,105,421	定期預金
債券(MMF)	13,352,261	0	14,519	13,366,780	債 券
合 計	33,267,911	300,000	25,409	33,593,320	

監査報告書

東京実業高校同窓会の平成 23 年度の収支決算報告書を監査致しました。
その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成 24 年 5 月 8 日

会計監査 笠原 忠男 (監)
同 小島 浩 (監)



➤ 定期総会

平成 24 年 6 月 2 日(土)午後 3 時から、「プラザ・アピア」において、平成 24 年(第 32 回)定期総会が開催されました。

本田位公公会長、上野毅名誉会長の挨拶の後、本田会長が議長に選任され、次の議案が審議されました。

- ・第 1 号議案 平成 23 年度事業報告
- ・第 2 号議案 平成 23 年度収支決算報告
並びに監査報告
- ・第 3 号議案 平成 24 年度事業計画(案)
- ・第 4 号議案 平成 24 年度収支予算(案)
- ・第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選

議案は全て原案通り承認可決され、役員改選において、本田位公公会長は再任となり、新任役員及び第 87 期(平成 24 年 3 月卒業)幹事が紹介され、役員を代表して本田位公公会長が挨拶をし、閉会となりました。

➤ 懇親会

総会后、午後 4 時から、111 名(ご来賓・学校関係 13 名、会員 98 名)の出席のもと懇親会が開催されました。

本田位公公会長、上野雅子理事長の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会矢沢秀一会長様よりご祝辞を頂き、次いで、井上昭校内幹事長から出席職員の紹介があり、知念義裕副会長(副校長)に乾杯の音頭をとって頂き宴に入りました。

半世紀以上の年齢差のOB・OGが交流するという同窓会ならではの楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌斉唱、関根秀夫常任幹事(28 期)と新幹事(87 期)により、「フレー! フレー! ・東実」のエンルと拍手で散会となりました。

ご多忙中のところ、お集まり頂きました皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。次年度も是非ご出席下さいますよう、お願い申し上げます。(総務部)

平成24年度 同窓会組織図

名誉会長
上野 毅(学校長)

会長
34 本田 位公子

副会長
知念義裕(副校長)
39 戸田 三光
38 川邊 國造
37 白銀 正明
42 臼田 佳彦
53 酒井 利夫

顧問
17 村松 濱代
27 渡邊 和彦
39 黒田 芳彦

相談役
16 小宮 龍雄
18 笠原 忠男
23 小島 浩
32 川名 重士
34 後藤 光明
34 浅賀 英雄
35 木村 恭久
36 天野 昇
37 米田 仁昌
38 田所 豊
41 滝口 房枝

会計監査
32 川名 重士
35 木村 恭久

事務局
41 米倉 美鈴

常任幹事(部会)

事業部
(行事関連など)
53 ◆酒井副会長
34 中山 勝博
38 池上 良信
41 森田 洋司
41 竹見 佐智子
44 南 俊和
53 斎藤 正千代
55 平野 清志
76 伊藤 英明
76 高山 峻一
76 高柳 直生
77 山本 真史

会計部
(会計管理など)
37 ◆白銀副会長
30 渡邊 正信

企画部
(新規事業など)
39 ◆戸田副会長
41 加藤 憲治
42 鈴木 和雄
42 瀬戸 盛義
79 鈴木 亮太

会報部
(会報出版など)
38 ◆川邊副会長
22 遠藤 孝一
34 亀村 進治
48 佐藤 まり子
56 佐々木 健
75 山田 慎

総務部
(総会関係など)
42 ◆臼田副会長
25 吉村 和重
28 関根 秀夫
29 箕輪 弘数
37 斎藤 君子
37 小泉 耕一郎
42 瀬川 千尋
42 神野 行雄

◆印は部会責任者です。

校内幹事

幹事長
42 井上 昭

副幹事長
46 原田 忠彦
46 飯塚 方子

幹事
42 荻野 知昭
43 千田 一雄
43 森 吉男
45 馬場 文男
54 村山 隆
62 中村 大
66 深川 剛
68 小島 健市

校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。

★氏名の前の数字は「卒業年度」です。

★副会長・顧問は就任順、他の役員は卒業年度順です。

平成24年度 事業計画

◆総務部…定期総会及び庶務一般に関する事業

- 平成24年(第32回)定期総会の開催
 - ・日 時:平成24年6月2日(土)、15時より
 - ・場 所:「プラザ・アペア」
- 総会后、懇親会の開催
- 庶務一般
 - ・会員の名簿の整理及び作成
 - ・各期同窓生に対し、同窓会参加への強化
 - ・常任幹事拡大への強化
 - ・卒業記念アルバム管理
 - ・東日本大震災の義援金募集と寄付活動
 - ・その他(会議開催・学校行事参加など)

◆会報部…同窓会会報誌に関する事業

- 第24号の編集・出版(平成25年3月1日発行)
- 広告掲載企業の募集

◆会計部…会計・予算の総括に関する事業

- 各事業に係る会計報告並びに会計業務全般
- 当年度の収支決算書の作成及び新年度予算案の作成

◆事業部…年間行事等に関する事業

- 第29回懇親旅行の実施
 - ・日 時:平成24年10月6日(土)・7日(日)
 - ・場 所:割烹旅館「大進館」(神奈川県愛甲郡愛川町)
- 東実祭(オープンハイスクール)参加
 - ・日 時:平成24年11月10日(土)
 - ・内 容:同窓会の部屋の設置/校章入りドラ焼き販売/東日本大震災義援金募集など
- 平成25年度新年会の開催
 - 日 時:平成25年1月26日(土)、17時30分より
 - 場 所:「プラザ・アペア」

◆企画部…新規事業の企画及びホームページに関する事業

- ホームページの随時更新及び年間行事等の情報提供
 - ・未掲載の会報(1号~15号)の掲載とリニューアル
 - ・ホームページアドレスを広く流布するための広報活動
 - ・会員のホームページアクセス数の増強への推進
- 同窓生の有名人・著名人等の収集活動
- 新規事業の企画立案

主な行事報告 (東実祭・懇親旅行・拡大幹事会・新年会)

東実祭 (オープンハイスクール)

2012 年 11 月 10 日 (土) に開催された「オープンハイスクール」に「同窓会の部屋」を設け、会員の自作品の展示や各期年度の卒業記念アルバムの展示と CD 化した「同窓会報 (1 号～23 号)」をパソコンで検索して閲覧してもらうなど、来場者に楽しんで頂きました。

また、恒例となった「校章入りドラ焼き」の販売は、好評で終刻の 1 時間前には用意した 1500 個を全て販売致しました。(総務部)



今回、新規の企画として、横山恭之氏 (第 29 期) にご協力頂き 1 階の大会議室にて、「Oゲージ (32 ヶ軌道) 模型 S L 列車の運転」、「日本の S L 史の要約、写真、書籍」の展示、「C62 型 S L の動作模型」の展示など行いました。詳細につきましては、11 ページに掲載の横山恭之氏の寄稿文をご参照下さい。

尚、東実祭終了後、旧職員の会が開催され、本田位公子会長と臼田佳彦副会長が招かれました。(企画部)



平成 24 年度 東京実業高等学校 旧教職員 の会 2012.11.10

拡大幹事会

24 年度の拡大幹事会は、昨年 (2012) の 11 月 30 日 (金)、午後 6 時より、「プラザ・アペア」にて、学校関係者 (校長・副校長・校内幹事教職員) 及び同窓会役員 27 名の出席のもと開催されました。

各分会責任者より、事業活動の状況報告と、学校の近況や部活動の活躍状況などの報告があり、有意義な情報交換が出来ました。本会を通じて、より一層の協力関係を構築していきたいと思っております。(総務部)

懇親旅行

第 29 回の懇親旅行は、昨年 (2012) の 10 月 6 日・7 日にかけて 24 名の参加で、近隣の神奈川県愛甲郡愛川町中津の「割烹旅館大進館」を宿に 1 泊 2 日の旅程で実施致しました。詳細につきましては、10 ページに掲載の中島實氏 (第 28 期) の寄稿文をご参照下さい。(事業部)



第 29 回 東京実業同窓会懇親旅行 2012.10.6 大進館

新年会

平成 25 年 1 月 26 日 (土)、17 時 30 分より、「プラザ・アペア」にて、ご来賓、先生方 12 名、87 歳 (第 17 期) から 19 歳 (第 87 期) にわたる同窓会ならではの多彩な顔ぶれが一堂に集い、総勢 75 名のもと盛大に開催されました。昨年度駅伝メンバーで、今年の箱根駅伝 7 区で区間賞を取った我那覇和真君 (第 87 期・現神奈川大学 1 年生) が特別招待で参加され、箱根駅伝の報告をして頂きました。普段は、あまり話す機会がない大先輩の方々や卒業して間もない若い方々、そして先生方と話が盛り上がり、大変有意義な楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会しました。(事業部)



第29回懇親旅行へ初参加



中島 實 (第28期)



■**初めに自己紹介** 昭和9年10月8日、東京都大田区本羽田の生まれ、干支は戌(イヌ)、血液A型。

昭和22年3月、東京都都南国民学校初等科終了。昭和25年3月大田区蒲田東實中学校(上野熊蔵校長)卒業。昭和28年3月、東京実業高等学校機械科、参個年(3ヶ年)間精勤賞を上野熊蔵先生から受け卒業。昭和28年5月米軍羽田基地でアルバイトをしながら、昭和34年3月、中央大学経済学部卒業。昭和35年6月、小学生からの飛行機ファンだったので、翼に関係のある仕事なら何でもと言う気持ちで航空会社へ念願の入社。補給部、整備部、B-747 運航乗員部を経験して、平成6年10月に35年間勤務して定年退職。現在に至る。趣味はプラモデル、音楽を聴く、マウンテンバイクで毎朝20km・2時間の走行とラジオ体操。高校在学中は機械科製図を好み、曲がったことが嫌いな性格かも？

■**旅行記** 平成24年10月6日(土)・7日(日)、神奈川県愛甲郡の割烹旅館・大進館(木造2階建)を宿に1泊2日の懇親旅行。バスにて母校を10時出発、初対面の同窓生が多く当初は緊張気味。バスは小型で補助席を使うがアルコール、おつまみの量が増すにつれて学生時代の写真や思い出話で盛り上がり、ジョークと笑いで車内は大爆笑の大賑わい。途中、宮ヶ瀬ダム見学。湖底にあったであろう故郷の村人の心中と、我々が使う水源としての感謝を思いながら昼食。メニューは季節もので美味だった。



第29回 東京実業同窓会懇親旅行 2012.10.6 宮ヶ瀬ダム

夕刻近く宿に着く。先発隊の何人かは到着済みで出迎えてもらう。全員24名は部屋割りに従ってそれぞれの部屋へ。早速入浴し、温泉ではなかったが道中の笑い疲れた身体の汗を流す。先輩・後輩と裸で談笑。

同窓会発足の苦労話を拝聴して、待望の懇親会は二次会、三次会の大イベントで歌あり、カラオケあり、踊りあり、変なマジック?に全員拍手喝采。男性軍、女性軍と入り乱れての甲乙つけられぬ芸達者の皆さんに脱帽した。深夜となり終宴し、1日目は終わった。

2日目は、小雨の中の散歩と朝湯も旅ならではの楽し

みを味わった後、食事療法、栄養の取り方などの参考となる会話をしながら朝食を食べ、ここで帰路に着く先発隊と再会を約束し、10時に宿を出発した。

途中、所用のため本厚木駅で下車した方もいたが、バスは江の島海岸を通り、ランチ場所である由比ヶ浜海岸に向かう。ランチは岸近くの「KKRホテル鎌倉わかみや」で“海鮮まかないめし”を食べたが、甘い珍味で美味しかったがボリューム満点で完食ならず…。

最後の見学地、鎌倉の鶴岡八幡宮は、七五三と流鏑馬(やぶさめ)で参道が混雑し、年末年始のようだったが、道中の安全と同窓会の発展を祈った。ここで、自由解散となった。私も2日間一緒に楽しんだ仲間との別れに何か感傷的な気分で下車し、電車で家路に着いた。

2日間の懇親旅行の計画と盛り上げて頂いた会長さんをはじめ幹事の皆さん。早朝から深夜までのご苦勞有難うございました。次回も又宜しく願ひ致します。

ここに母校の発展と同窓会皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

■「同窓会行事」参加のお願い

6月・定期総会	11月・東実祭
9月・懇親旅行	1月・新年会

同窓会行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。同窓生の方であればどなたでも参加出来ます。お知り合いの先輩・同期・後輩の方にご連絡頂き、お誘い合わせてご参加下さい。詳細に付きましては、事務局にお問い合わせ頂ければ、案内状を送付致します。また、同窓会のホームページでもご案内と、お申し込みが出来ます。

■「平成25年定期総会」開催のお知らせ

平成25年の定期総会は、下記の要領で開催いたします。

記

日時：平成25年6月1日(土)
午後3:00~6:00
場所：プラザ・アベア(蒲田駅南口)
会費：3,000円(懇親会参加者のみ)

※総会終了後に懇親会を開催しています。卒業後5年以内の会員は招待とし、会費は無料ですので、お気軽にご参加下さい。(総務部)

めつき材料総合商社

株式会社 三松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)
湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)
横浜営業所 横浜市神奈川区恵比寿町7-5
〒221-0024 TEL (045) 461-6088 (代)

東実と模型工作



『木炭を焚き、
運転の
準備をする
横山氏』

横山 恭之 (第 29 期)

かねてより同窓会から、お話のあった文化祭(東実祭)に 60 年ぶりに参加し、S L 列車の運転を披露させて頂きました。同級生はじめ同窓諸氏、鉄チャン在校生の応援も得て、あっという間に午後 2 時の終了となりましたが、ギャラリーの参観もあって楽しい 1 日を過ごさせて頂きました。

振り返れば、昭和 23 年(1948 年)、戦災の焼け跡時代に新潟鉄工の仮教室で中学をスタートし、高校卒業までの 6 年間に東実の歩みとともに過ごしました。その間、模型雑誌などに触発されて材料工具などの乏しい中、ブリキ製 3 本レールの鉄道模型や首振り蒸気エンジンのボート、ヨットなど手当たり次第に創造の夢を追いかけていたものです。

高校機械科で学んだ機械設計、製図、工場実習などが現在までの趣味生活の支えとなっています。大学以降は住宅事情や雑事などで模型工作から遠ざかっていましたが、昭和 55 年(1980 年)、手狭となった我家の建替えの際、工房を設けたのを機に 0 番(32 ヲリ)ゲージ C62 型ライブスチーム模型の設計制作に着手しました。

段階を追ってドラフター、旋盤、シャーリング、コンプレッサー、ねこプレス、バンドソー等を備え、歯科用を改造して黄銅部品用の遠心铸造機も加えました。本物同様に蒸気で走るライブスチームで 0 ゲージのような小型模型の木炭焚きは前例が無く、30 年掛けてやっと満足できる段階に達しました。この間、C62 型をはじめ主要な日本の蒸気機関車を制作し、現在は遺作?であろう D51 と C58 の制作を進行中です。

また、地元の茅ヶ崎市では公民館、市民祭りなどの工作教室で子供達と一緒に手作り工作を楽しんでいます。

今回、このような形で母校とのご縁が再開出来たのを機会に「もの造り蒲田」という土地から、東実および地域の一層の活性化の一環として、様々な模型工作趣味の活動を東実から展開してみても如何かと提案したいと思います。母校東実の益々の発展を願っています。



興味津々で見る鉄チャン在校生



モダンな街から産業の街へと発展した歴史を持つ蒲田。今は区民ホールとビルが立つ松竹キネマの撮影所跡も高砂香料工業の工場だった。駅周辺の商店街は連続テレビ小説「梅ちゃん先生」ののぼりを掲げ、戦後復興期の蒲田が舞台のドラマを盛り上げている。

田宮履物店の田宮惟吉さんは梅ちゃんと同世代。戦中は羽田の軍需工場に動員され、上の兄は出兵。戦後は新潟鉄工所の仮教室で学び、夏は砂利運びに汗を流した。「でもつらいといった言葉はなかったね。当たり前だったから」。下の兄が医者になり自ら跡継ぎに。店の棚にはサンダルやげたが行儀よく並ぶ。(省略)

※田宮履物店の田宮惟吉氏は、23 期卒業生です。

本文は、「東京新聞」2012 年 5 月 5 日(土)付けの「東京どんぶらこ(523)・界隈ルポ」の記事より抜粋しました。

スポーツのことなら!

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

返信ハガキの備考欄より

平成24年新年会(2012年1月28日開催)通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

○星も凍るような冷たい夜風が続くこの頃です。ソロソロ夜歩きが辛い年頃になりました。大変残念ですが欠席させていただきます。「過去は過去として葬らしめよ～志賀直哉作」同感。

(第19期 小出 与三)

○【俳句】雪の庭 蠟梅(ろうばい)の花 火が灯る

(第19期 小出 与三)

○柔道部のOBとして、「全国高校駅伝出場！」大変立派に思います。

(第38期 矢向 勲)

○母の介護のため欠席します。駅伝応援しました。来年も…!

(第41期 出川 宏幸)

○高校駅伝に感動!

(第57期 田川 誠一)

○厳しい雇用環境が続いておりますが、お蔭様で在学中の厳しい指導と「不撓不屈」の精神で努力して来た結果、職場でも重要なポジションに就くことが出来、経済面でも何不自由無く生活させて頂いております。当時の担任の先生に感謝の気持ちでいっぱいです。

(第60期 山田 茂明)

○陸上部、マーチングバンド部等、母校の活躍を嬉しく思います。レスリング部もガンバレ!(レスリング部だったので…)

(第82期 中村 鉄太郎)

○現在、母の実家である栃木県日光市に転居し、那須塩原のホテルの寮に入り、頑張っています。

(第84期 斉藤(旧姓:池田)源希)

定期総会・懇親会(2012年6月2日開催)通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

○90歳を迎えて歩けなくなり、出席が困難です。また、回復したら出られるかも…と思っています。ご盛会をお祈りします。

(第16期 小宮 龍雄)

○お蔭様で小生2月、卒寿を通過。但し、歩行不安定故、会合の参加は一応遠慮し、欠席致します。各位・学校共々に益々発展されますように祈念致します。

(第16期 和田 邦宣)

○懐かしい音便頂き大変嬉しく存じます。今回は何とか出席したいと思いましたが、やっぱりダメでした。小生も高齢により、そろそろ音便もダメになりそうです。皆さまのご健康をお祈り致します。

(第17期 中村 美之)

○お蔭様にて元気に過ごしております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

(第17期 佐藤 三男)

○超高齢の為、身体不自由欠席不悪(あしからず)。

(第18期 関矢 一郎)

○年齢87歳。元気です。妻の世話のため欠席します。

(第18期 櫻井 健一)

○実家の解体等で都合がつかず欠席させていただきます。

(第19期 小出 与三)

○【俳句】新緑に 紅(べに) 一輪の 花ひらく

(第19期 小出 与三)

○【俳句】紫陽花(あじさい)は 同窓会の 風に酔ふ

(第20期 関根 秀夫)

○昨年(2011年)10月、母校を訪ね千田先生にお会いしました。会報に旋盤実習の記事があり、私も後期高齢の身で趣味のSL模型で旋盤・銀ろう付け等を行っており、機会があったら後輩諸君にこんな道楽を紹介できればと思っています。

(第29期 横山 恭之)

○何とか元気に生活しております。

(第34期 鈴木 正)

○会報送って頂きありがとうございます。楽しく読ませていただきました。母校の現況を知り、嬉しく思います。※同様に会報送付のお礼文は、次の5名の方が記述されておりました。

(第20期 小宮 進/第35期 岡田 清/
第35期 石堂美佐子/第38期 矢向 勲/
第42期 堂菌 昭)

— 企画・デザイン・印刷全般 —

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
TEL(03)5736-3447 FAX(03)5736-3448
E-mail: total@wing.ocn.ne.jp

— 第38期 川邊 國造 —

… ゆったい …
都南ユウキ
パーキング

〒144-0044
東京都大田区本羽田3-23-46
TEL・FAX 03(3745)0891

— 第32期 石井 澄枝 —

同期会報告

二十年ぶりのクラス会



浜住 芙美枝 (第 34 期)



平成 24 年 5 月 10 日、「嬉しい」お知らせのハガキが届きました。世話人の雪田弘子さんからです。

「平成 24 年 6 月 24 日、34 年度卒業、滝学級のクラス会を開催。これが最後の集いとなるかもしれません…云々」とのインパクトある文面です。この文面に心動かされ、出席しなくてはと思われた方が多くいたのではないのでしょうか。滝先生とお別れして 20 年 (平成 4 年 8 月逝去) になりましたが、あれから初めて開催するクラス会です。

滝先生のとても穏やかで、私達を優しく包み込んで下さったお顔が思い出されます。その先生の下で、私達、滝学級のクラスメート 61 名は、皆、大らかで、伸び伸びとしていて、ちょっと、やんちゃな所のあるクラスだったと私は記憶していたのです。その記憶は、今回のクラス会で出席者の方々と会って間違っていなかったことに感動しました。会った瞬間「あの方は誰？」なーんてこともありました。おしゃべりをしている内に、その方の癖や動作が出て「あゝ、何々さんだ！」と分かり、その内、あーら不思議、72 歳の顔が高校生の時の顔になり、シワやシミなど梅の花に見えてくるのです。「ちょっと厚かましいかな、この思い?」、何はともあれ集まった方々それぞれに色々なことをシッカリと受け止めながら生活して来たのだと実感致しました。あと少し乗り越える一山がありますが、身体の少々の故障に負けずに頑張っていきたいと思えます。

幸せな時間を計画して頂き有難うございました。世話人の雪田弘子さん、長久保貞子さんに感謝致します。

滝先生がご健在の時は、田園調布のご自宅で何度か催されたクラス会の楽しい一時がとても懐かしく思い出されます。この度は、楽しい一時を過ごさせて頂きました。皆さま、お元気で、再度お会い出来ますことをお祈りしたいと思います。



クラス会出席者 (2012.6.24)

「同窓会で逢いましょう」



知念 大量 (第 41 期)



それは 47 年間も疎遠だった機械科同級の友人 A 君からの電話で始まりました。電話を受けて、驚きと嬉しさと懐かしさが、玉のように弾けて、胸が熱く感じた頃には電話は切れていました。沢山の記憶が蘇り、余韻と余情に暫く浸かりました。

A 君の話しでは、新潟市内に 30 年在住して単身で転勤を繰り返して、いろいろな体験を積まれたとのことでした。その後、数回電話で話しているうちに同期同級の仲間に「逢いたい」、「語りたい」、「再開したい」と胸中を話してくれました。正に「人生、意気に感ず」でした。

さて、我々 41 期は数人の合縁奇縁で、40 歳を過ぎてから小旅行をするようになり、現在「実念会」と称するサークルが出来ています。誠に残念ながら中心的人物の一人が病に倒れ、現在リハビリ中です (頑張れー)。

また、全員順風満帆とは行かず、共有する時間がとりづらく、活動は少々休眠中であります。

新潟の A 君との再会と歓迎会、千思万考の折に同窓会のお知らせが届いたのです。「渡りに船」でした。早速に「東実同窓会で逢いましょう」と銘打って、会場をセットして「実念会」の仲間達に集会の主旨と、支援を文章伝達しました。30 代より生まれた仲間との「金石の交わり」は、決して無意味ではなく、以心伝心、気持ちを通じ、心からの温かい歓迎と協力をして頂き、当日の A 君を囲む集会では、18 名が同期繋がりで「喜色満面」に溶け込み、私自身「愁眉を開く」ことが出来ました。

「一日千秋の思い」でこの日を迎えた A 君の「俺、涙が出ちゃう」の一言で、答えは充分でした。時は流れ時間延長 22 時まで、瞬時の線香花火の如く、素敵な時間を過ごしながらか最も感心したことは、全員中座する者もなく、最後まで一緒だったことです。また、仲間の紹介も忘れ、場に雰囲気飲まれても協力してくれた皆が、最後に肩を組み合唱した「高校三年生」は、感無量で歌うことが出来ませんでした。

どんどん薄れて行く「昭和の時代」旧交を温めた仲間達と久しぶりに昭和の情熱と香りを復活させ、全員が出演と演出を励行し、楽しくも嬉しく、満喫した気分を味わえたのは私だけでは無いはず。「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」と心に刻み込んで、レトロで哀愁漂う「春宵一刻値千金」の一夜を終幕。

第 41 期同窓生は、昨年 6 月に開催の定期総会後の懇親会に参加し、別会場にて開催されました。参加者一同の写真は表紙に掲示しましたのでご覧下さい。

…先生から教え子への手紙…



1964年(昭和39年)～1983年(昭和58年)年3月まで女子商業科の教諭を勤められた「花房悦子先生」より、教え子であり、当会の校内副幹事長(東京実業高校職員)の「飯塚方子(第46期)」さん、への手紙をご紹介します。

飯塚 方子 様 ①

此の度は、懐かしい東実の会報まで頂き、元気を頂いた心地で嬉しく拝見致しました。大変なお仕事ですが、女子部の貴女が頑張っておられること本当に嬉しい限りです。

台風も難なく過ぎてくれました今日こそ、お返事を書くことと筆をとりましたが、早や駄目なことを承知しながら続けます。支離滅裂なところもあるかと思いますが、ご判読下さいますようお願いいたします。

大正6年生まれ私共二人は、今年95歳になるかと思いますが、高島易断暦を開いて見ましたら、96歳とあります。どっちにしても、もうあちこち悪く、頭が先…、視力がもう駄目。今日も病院の待合室の廊下に貼ってあるポスターの絵を見たら、本当は何もないはずなのに、「こんな線の太い像が(挿入画が描かれて説明)見えたり、また、テレビに映っている人物がもう一人上に重なったりして見えるのには驚きました。

主人も家の中に瓦礫がいっぱいになったり、天井から芥(ごみ)が下ってきたり、庭に白い花がいっぱい咲いていたり、二人でありもしないことを話して笑っていますが、視力が急に駄目になりました。字を書いても間違えだらけかと思いますが、ご判読下さいます。

天候が不順で桜も咲く時を迷っているのでしょう。前の水たまりに5～6年前までは、今頃になると筆がいっぱい茂って青い若い芽がつんつん、いっぱい出ているのですが、その中の隅に、隣の椎の木に寄りかかり助けられている一本の山桜が、毎年一枝ぐらゐの花を咲かせてみせてくれます。ほんの10個か30個位ですが花は確かに山桜です。うぐいすも去年までは鳴いてくれました。今年はまだまだですが、誰も見てくれないこんな所にたった一本で昔のとおり、やっぱりちゃんと時期を忘れずに咲いてくれます。今年も大丈夫のようで、私も又もう少し頑張らなくてはと思います。嵐が過ぎたので今日も見に行ってみようと思っています。

春は卒業式、入学式と忙しい時期ですね。また、今年も思い出しますが、新入生を迎えて、若い人がいっぱい希望と元気に満ちた職場は本当に良い所です。及ばずながら私も仲間に入れて頂きましたこと本当にありがとうございます。嵐も、大きさ強さ音と比べものにならない程のが、無事通り過ぎました。天災もこの頃は全くどんなことになるのか想像もつかない限りです。いろいろ大変な世の中ですが、若い人の中に元気いっぱい高校の雰囲気は本当に良いものです。負けないよう頑張ってください。お身体は大事に！主人もよろしく申し上げます。

では、また、悦子。

平成24年4月6日

飯塚 方子 様 ②

此の度は、懐かしい嬉しいお便りをありがとうございます。長生きをして良かった良かったとしみじみ思うと同時に、家庭科の授業の家族のところ、今なら、もっともとお話が出来たのに…、本当に皆さんに何の為に生まれない先生だったと申し訳なく心が痛むばかりです。

あと1週間で95歳になります。ここまでできてしまいましたが、お陰様で今は記憶力が駄目になったことと、視力がお日様の光がないと字が書けなく、電気の明かりでは、どんなに明るくても駄目です。こうして(手紙を書くのは)日の光では何とか大丈夫です。針も使えます。つくり物ぐらゐは、まだ出来ます。眼鏡は使っていません。指輪もはずし、入れ歯も全部80歳を過ぎて取り、生まれたままに戻して大丈夫。自然に命の絶えるまで上手にもってゆこうと思っています。毎日散歩は出来ませんが、足踏みの機械で100回漕ぐことをもう何年も続けておりますので、歩くことには自信があります。自分では3km位歩けると思い、バイパス(大網病院のあたり)まで歩いてみたいと思っておりますが、皆が許してくれません。

私は物忘れがひどく、蓋をとればその置いた所を忘れ、着替えをすれば脱いだ物の置き場を忘れ、又しまってしまったら、そんなことで、あまり口に出さないようにして、まごまごばかりして、我ながら情けなくなります。これでは今のうちに介護の認定だけは取っておこうと、早速申込んで来ました。いよいよ老化です。95歳のボケ老人を二人かかえて、息子夫婦は大変なことになるでしょう。とにかく私は主人の世話だけは頑張らなければと毎日そのことばかりです。

現代の新しい高校のことは想像も出来ませんが、どんなにか大変な毎日かと思えます。身体を大事に今の社会について行って下さい。それには東実のような学校生活は本当に良いと思えます。私もあの時代はあの時代として、少しでもお仲間に入れて頂いたこと一生の中で一番良い時代だったかもしれません。今となっては立派になった学校を拝見しに行くこともお会いすることも出来ませんが、思い出だけは大切にどめております。時々アルバムを見ては本当に懐かしくなります。

主人は足から駄目になりました。若い時、山歩きをしたり、軍隊では600kgの重装備で行軍したりしていたのに、今は全く歩けません。家の中も車椅子につかまって移動します。トイレにも行かれなくなりました。杖は不安定で駄目なのですね。眼も随分見えなくなって、食事の時はお箸は使えず、フォークとスプーンです。それでも中々口まで持って行くのは大変で、なるべく自分で起きて食べないと、どんどん老化が進んでしまいますので、見ていて助けてあげるだけと思うのですが、これもなかなか辛いものです。

私共の孫が、二人目のお産で先月から帰ってきて、7月8日に安産で生まれました。私達にとっては「ひ孫」ですが、上はまだ2歳になったばかりで、まあ大変なことになりました。まあ元気で皆それぞれ役目分担任しています。元気な赤子の泣き声と、幼児の元気に飛び跳ねて遊ぶ声に、一辺に我が家は若返った分と、老化の分と入り混じって、中々難しいけど楽しいものです。私も幼児の真似をして飛び跳ねてみようと思ったら、出来ないのに老いをつくづく思い知らされました。

悦子

平成24年7月24日

平成 24 年度 (第 88 期) 同窓会幹事名簿 平成 25 年 3 月卒業のクラス別同窓会幹事)

クラス	担任 (先生)	幹 事	
MA	増田 修一	平田 大地	佐藤 健
MB	松田 稔	佐藤 龍也	○吉川 遼
MC	岩田 孝文	白田 富美祥	伊藤 大智
EA	須賀 寛光	松村 康平	吉澤 拓哉
IT	藤吉 和介	高田 涼	山口 偉大
OA	湊田 和良	小林 亮太	○大島 未鈴
OB	田口 結香	東 紗亜弥	井上 かな
OC	上原 直輝	◎前田 祐志	○本田 有起美
OD	小島 茂	牧山 柊太	中村 晴香
OE	高橋 修	岩出 佳祐	石原 絵美莉
OF	小野 博司	盛 勇人	三浦 凌

■11 クラス : 22 名 (◎印 : 代表幹事 ○印 : 副代表幹事)

■学年主任 : 宮田 宏輔先生



第 88 期 新幹事と懇親会開催(2012. 12. 7)

物故者

卒 期	氏 名	没 年
第 16 期	安食 良雄	平成 23 年 9 月
第 16 期	塚越 茂	平成 22 年 11 月
第 17 期	村澤 賢一郎	平成 23 年 12 月
第 17 期	関見 旭代	平成 23 年 7 月
第 17 期	松本 錦造	平成 23 年 11 月
第 17 期	波田野 政信	
第 17 期	工藤 一太	平成 24 年 2 月
第 17 期	吉川 詢	平成 24 年 7 月
第 18 期	乾 久佐衛門	平成 24 年 3 月
第 18 期	石井 邦雄	
第 18 期	松本 勇	平成 24 年 9 月
第 22 期	堀口 俱正	平成 16 年 1 月
第 22 期	塩井 清安	平成 23 年 12 月
第 23 期	早乙女 健二	平成 23 年 8 月
第 25 期	加藤 一吉	平成 24 年 10 月
第 26 期	高橋 堅三	平成 24 年 1 月
第 27 期	※渡邊 和彦	平成 24 年 11 月
第 41 期	飯田 秀夫	平成 24 年 1 月
第 61 期	樫村 裕健	平成 22 年 2 月
元教諭	大岩 守郎 (社会)	平成 24 年 10 月

※当会顧問の第 27 期 渡邊 和彦氏は、平成 4 年～平成 6 年の 1 期 (任期 2 年)、第 3 代会長として、当会の発展のために多大なるご尽力頂きました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。

全国高校駅伝 寄付金ご協力のお礼!

母校陸上競技部が、第 63 回男子全国高校駅伝競走東京都予選で優勝し、全国大会に 3 年連続 4 回目の出場を果たしたことに際し、同窓生有志各位に協賛金のご協力をお願い申し上げたところ、多数の方々のご賛同下さいました。ご協力頂いた協賛金は、全国大会の参加所要経費として使用させて頂きました。

この場を借りて、ご報告させて頂くと共に、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

京都市の西京極総合運動公園陸上競技場を発着点に開かれた全国大会には、当会から私の他役員 4 名が応援に行きました。閉会后、挨拶された監督の小川欽也先生は、「故障者もなく順調に調整してきたが、12 月に入って部員 3 人が感染性胃腸炎にかかるトラブルに見舞われ、阿部怜央主将 (3 年) は入院。何とか開会式には出席出来たが、レースで走ることはできず、主将不在で迎えた本番となり、満足する結果ではなかったが、チームが丸一となって走ってくれた」と奮闘した選手達をねぎらい 4 連覇を誓いました。

順位は 31 位と前年度の 30 位には及びませんでした。力走する選手を見て深い感銘を受けました。選手諸君や部員に感謝すると同時に 4 連覇を目指して頑張っ欲しいと願っています。(会長 本田位公子)



東京都駅伝 3 連覇! 陸上競技部

東京実業高校同窓会会員総数 平成 24 年 4 月現在 (): 女子

会員総数		商業系	工業系	普通系
34,405 (3,278)		14,265 (2,612)	16,151 (3)	3,989 (663)
内	屋間部(同窓会) (大 15~平 24)87 期	30,179 (3,046)	11,910 (2,382)	14,280 (1) (663)
	夜間部(蛍窓会) (昭 4~昭 52)49 回	3,586 (228)	2,223 (228)	1,363
	専門学校(五葉会) (昭 35~昭 48)14 回	640 (4)	132 (2)	508 (2)

- 平成 24 年 3 月卒業生数: 353 名
- 商業系: 0 名
- 工業系: 機械 103(男 102・女 1) + 電気 47 = 150 名
- 普通系: 男 157・女 46 = 203 名

事務局だより

事務局・部会からの お知らせとお願い!



■「同窓会報」送付のご案内

本会報は、卒業されてから3年迄の会員には送付しておりますが、以降は同窓会役員・同窓会行事出席者・本会報への寄稿者等にしか送付しておりません。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同窓会の開催の際には、事務局にご連絡頂ければ差し上げます。

ご遠慮なくお申し込み下さい。(事務局)

発行済みの会報誌の閲覧について!

本会報は、同窓会の情報誌として毎年1回発行しております。お陰様で、本号で24年間連続の発行となりました。

発行済みの第1号(1990年・平成2年)～第23号(2012年・平成24年)は、同窓会ホームページに掲載しております。ぜひ、一度ご覧いただき、当会の歩みを御理解頂ければ幸甚に存じます。

なお、ホームページのURLは次の通りです。

URL:<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

■「広告」掲載のお願い

本同窓会誌に広告を掲載して頂ける企業・事業主の方を募集しております。本紙の広告料は5,000円(縦5cm×横8cm)、1/2スペース2,500円です。また、同窓会のホームページのトップページのバナー広告も募集しております。詳細はホームページの「広告バナー掲載について」をご覧ください。お申込みは事務局に連絡、又はホームページでお願い致します。(会報部)

■「寄付の要請」などに注意して下さい

「名簿を作成するため寄付を募っています」などのサギの電話が横行しています。同窓会では寄付の要請は一切行っていません。ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないよう<注意>して下さい。

対処法として、「後日連絡を取る」ことにして、名前、住所、電話番号、卒業年度、担任の先生の名前などを聞いて、事務局にご連絡下さい。(事務局)

■「同窓会名簿」について

同窓会ホームページを随時更新し、行事などの最新情報をお知らせしております。閲覧されている同窓生が年々増加し、「お問合せフォーム」からの住所変更のご連絡などの他、「同窓会名簿が欲しい」との問合せが最近多数あります。

名簿は「個人情報保護法」等による法令遵守や名簿の悪用防止等の事由で印刷した名簿は発行していません。

住所変更等のご連絡を頂いた場合は、随時更新してデータベースで管理しております。(企画部)

編集後記



会報誌「東京実業高校同窓会会報」第24号の発行に際し、寄稿をお願い致しました皆様方におかれましては、快くお引き受け頂き、お忙しい中でのご執筆、誠にありがとうございました。また、広告掲載頂きました各企業様には、厚く御礼申し上げます。

昨年は、師走に多数政党が候補者を立て、国政を担う衆議院選挙が行なわれました。新政権には、リーマンショック後に低迷を続ける日本経済の立て直し、一向に進展しない東日本大震災並びに福島第一原子力発電所事故の1日でも早い復興等、国民主体の政治を切望します。

このような中、母校では90周年を迎え、10月に新体育館が完成し、引き続き4・5号館の建て替え工事も着工され、2014年末には全ての改修工事が終了するとのことです。また、部活動では、陸上競技部が3年連続4回目の都大会優勝という快挙を成し遂げて全国大会に出場。マーチングバンド部は関東大会で金賞を受賞し、全国大会では小編成の部で金賞を受賞するなど、全国区で活躍している後輩達を誇りに思うと同時に敬意を表したいと思います。

会報部では、同窓会の活動・母校の近況・会員の寄稿文等を掲載し、同窓会の情報誌として毎年1回発行しております。幅広く同窓生からの寄稿を募集しておりますので、ご応募下さるようお願い申し上げます。(会報部)



東京実業高校同窓会会報 No.24 会報部

責任者	川邊 國造(副会長)
部員	遠藤 孝一(常任幹事)
	佐藤 まり子()
	佐々木 健()
	山田 慎()
	亀村 進治()
発行日	平成25年3月1日
編集	東実同窓会報 会報部
発刊	東京実業高校同窓会
	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1
	TEL:03-3732-4481 FAX:03-3732-4456
	URL: http://www.tojitsu-dosokai.com/
	e-Mail: info@tojitsu-dosokai.com
	事務局:080-1186-8945
	tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
発行人	本田 位公子(会長)
編集人	川邊 國造(副会長)
編集協力	臼田 佳彦(副会長)
	小野 博司(教諭)
	米倉 美鈴(事務局)
制作	トータルプラン株式会社